

鹿児島ジュニアラグビーフットボールクラブ総監督 岩切 純也さん (59) 鹿児島市下荒田3丁目

キラリ

373 ワイド

フォーカス

スクラムを指導する岩切純也さん
—鹿児島市七ツ島2丁目



だが、チームの成果よりうれしいことがあるという。「できないプレーが、練習を重ねればできるようになる。あきらめず挑戦し続け、実を結んだときの部員の誇らしげな表情が、一番のご褒美。だから毎回練習が楽しい」。「鬼監督」は人なつこい笑顔を見せた。
(運動部・長野享志)

173センチ、92キロの巨体に、丸刈り、野太いどら声。怒るととにかく迫力がある。練習中、中途半端なプレーをした部員を見つけると「無責任なプレーをすんな、こらあ!」と大声を張り上げる。その迫力に圧倒され、返事しながら逃げ出す部員がいるほどだ。だが、皆よくなっているのは深い信頼関係の表れだ。

1997年から、小中学の湯を手伝い始めた20歳代前半、学生の時水泳部で鍛えられた力をもてあまして80キロのダンベルを片手で持ち上げ、腕を磨いた。

「挑戦続ける子供の成長がご褒美」

生地のラグビークラブチーム。鹿児島ジュニアを率いる。の甲南クラブに誘われた。た。頑張っても国体では2つ運営に乗り出した。ラグビーを始めたのは社会人になってから。家業の銭み合えば、タックル一発で学び、プレーが洗練される気のある選手をつくらう。

めだけのものじゃない。ラグビーができるようになれば、どこでも通用する社会人になれる。野球やサッカーに負けない、魅力ある競技と強調する。

いわきり・すみや 1952年鹿児島市生まれ。同市で銭湯を営む。毎年6月、九州のクラブが集まる交流戦を主催するなど、試合機会の提供にも力を尽くす。

同経済 同タウン 同芸ナビ 木フォーカス 同ゴワス・キントク 同キャンパスウエーブ